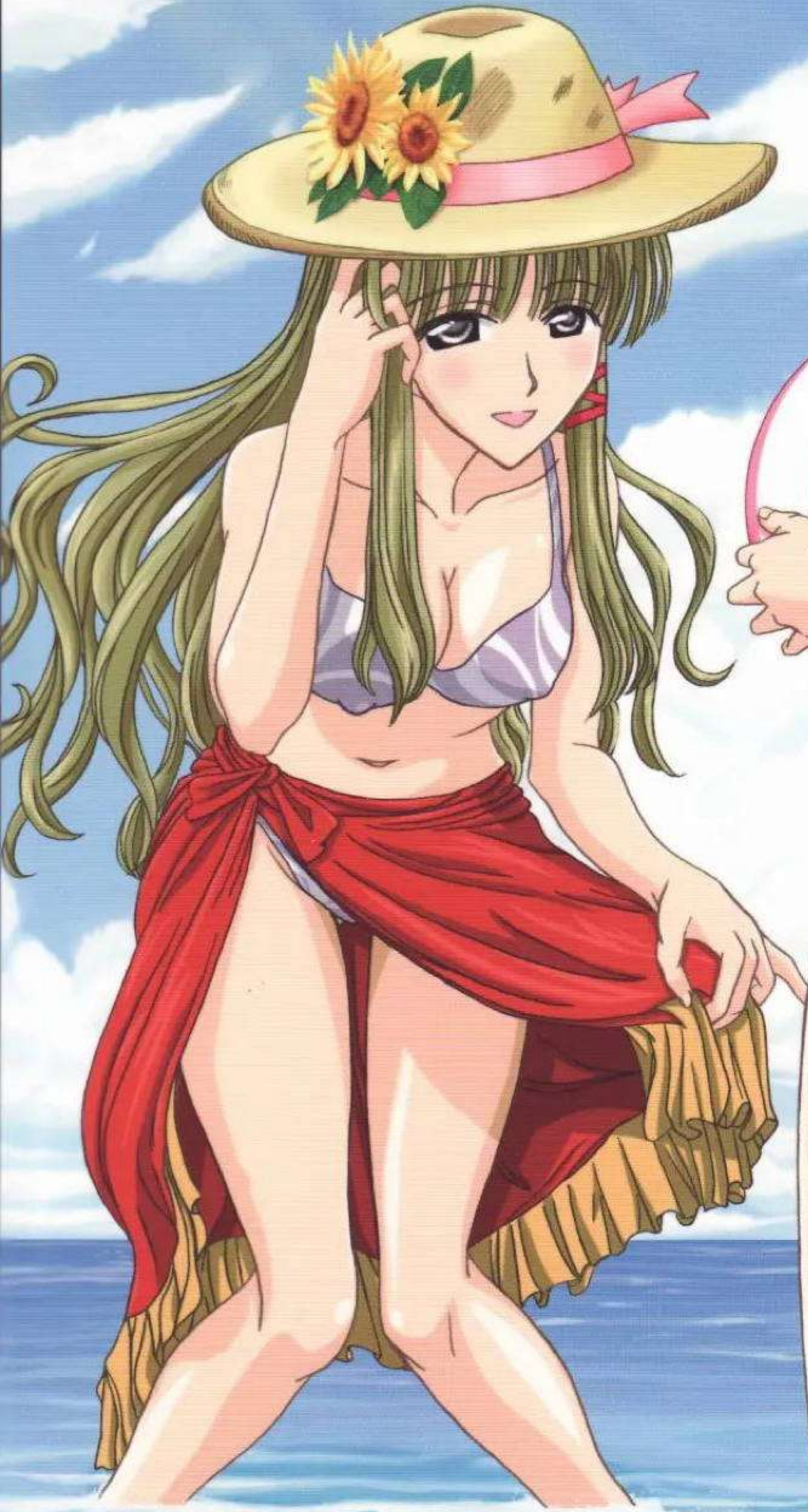


絃子先生と
ラブラブ
なつやすみ。



そんなわけで
絃子先生と
夏休み

避暑地の
温泉旅館に
やって来たのだ

しかし随分
歩いたな

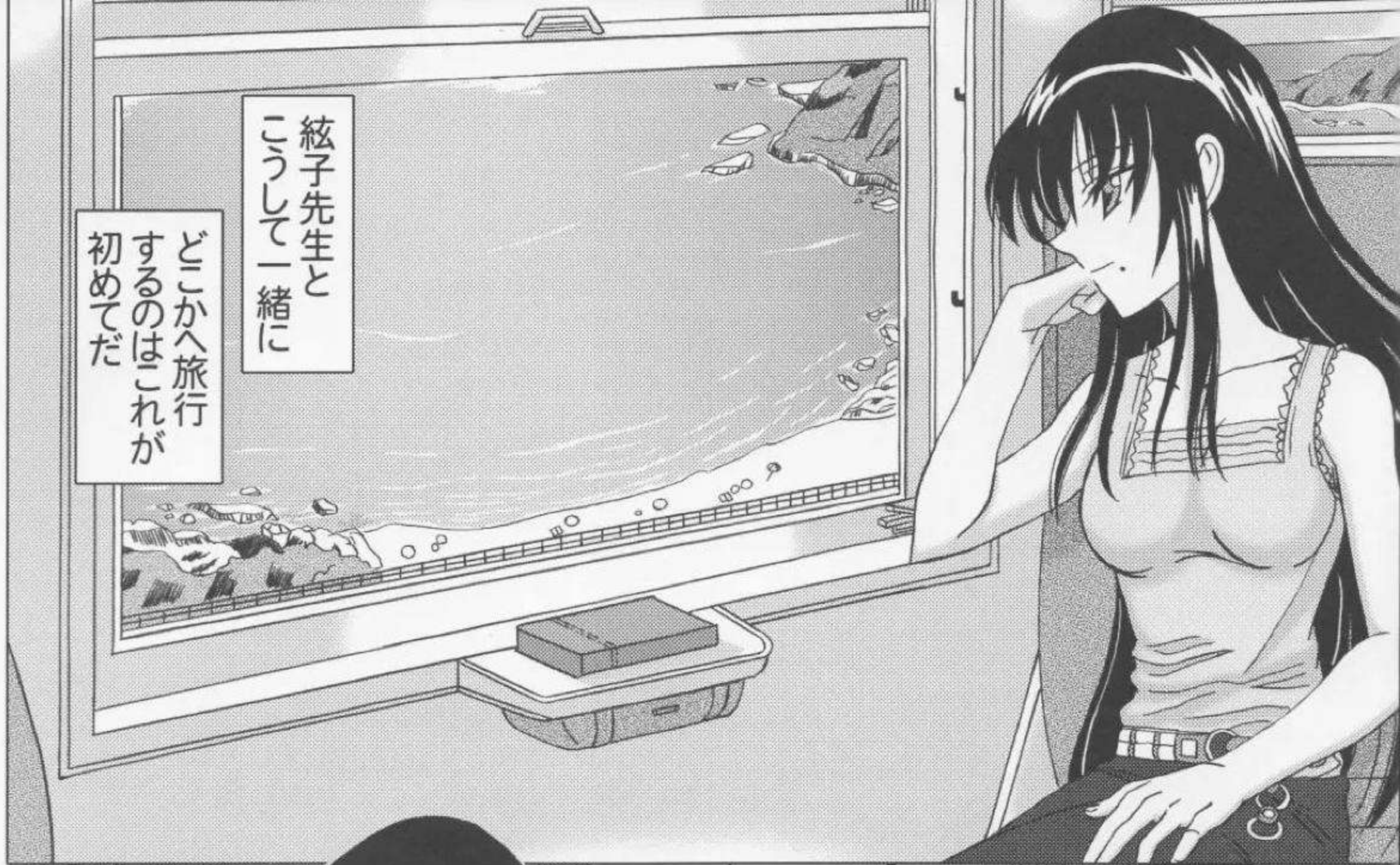
日差しもきつくて
汗をかいた

何独り言を
ぶつぶつ
言ってるんだ

私の荷物持ちが
そんなに疲れたか？
悪いな着替えが多いんだ

嬉しそう
だった？

いいからさっさと
中に入るぞ
風呂風呂



絃子先生と
こうして一緒に

どこかへ旅行
するのはこれが
初めてだ



あと少しで
着くぞ

菓子でも
食べるか？

ほら口を開ける
食べさせてやろう



ん？
どうした？



あんまり人の
横顔をジロジロ
見るな
恥ずかしいだろう

かあ

一風呂浴びて
疲れを取った翌日

早朝の山の空気が
身に染みる



ようやく目が
覚めたか

さっきからコッチは
起き上がって
いたのにな
もうすっかり元気だぞ

わっ!
さら



ん…
下半身が
むずむずする



石みたいに固いぞ

この日のためにずっと
我慢していたんだらう?



昨日は温泉で疲れを
取るだけで終わって
しまったらう

さっそく
始めるぞ

ううう



コラ……！
言ったそばから……

がつつかなくても
気持ち良く
してやる



あぁっ

力を抜いて楽に
してこいぞ

あぁっ
あぁっ

はっ……！



ぷはっ
……！

飲みきれない……
凄い量だな
一体何日溜めて
いたんだ？



ふ……！



……！
それダメっ

ちよ
ん！

君の弱い箇所は
知っているん
だからな



んふ…っ
濃くて旨いな

これだけで萎える
モノでもないか
まだまだ元気そうだ



したいんだろう？



そんな物欲しそうな
目で見つめられると

のしっ

私も乗り気にな
ってくるぞ
一発だけの
つもりだったが

朝っぱらから
私の中にこの熱くて
固いモノをぶちこみ
たいんだろう？



随分情けない声を
出すんだな
可愛い奴だ

先っぽを入れ
ただけで

ズズズ

うああっ
…!!



こんな場所で先生も無いだろうか？

ちやんと名前前で呼んでくれ繋がっているんだから



そらっ…！

そら

先生

そんなに動かれると…！



そうそれでいいあと「さん」をつける

絃子…



意外と胸が高鳴るものだな…無性に恥ずかしいぞ

しかし旅行先でのSEXというのも



ゆっくりだ…
亀頭が一番奥に
当たっているぞ

そう…
ゆっく



……
……
……

はあ—あ
はあ—あ—!



んっ…!

スパート
かけるぞ
…!
来るっ…!



近場の
海水浴場へ
繰り出す

人が多いのに
綺麗な海だな
さすが田舎

あんまり見られると
背中が——
くすぐりたい
嬉しいがな

若い女の子がたくさん
いるのにキミは
私ばかり見ているな

絃子先生に日焼け止め
クリームを塗ることに

塗り忘れの
ないよう
まんべんなく
塗ってくれ

じゃ
ーじも...

ひびき!!

変な気を
起こすな!!
殴りたいか

GAW!!

先生：
もう殴ってる...

岩場を越えたところに
穴場の洞窟があると
いうことで

潮が満ち始める前に
二人で行ってみた

結構広いな…
誰もいないか

空気がひんやり
していて声が
反響するぞ

せーのっ

いつ!?

ぎあっ

ぎあっ

コラ……!
やめないか

人に見られない
からって……!!

ゼッ

ひゅ……!
固いモノ当たってるな

イツ

まったく……

こ……こらう
弄るのか?

ヒキ

若さとは
困ったもの
だな……
息が浅いぞ

……こんなにも
自分の乳首って
固くなるもの
なんだな……
母乳が出そうだ

ヒッ

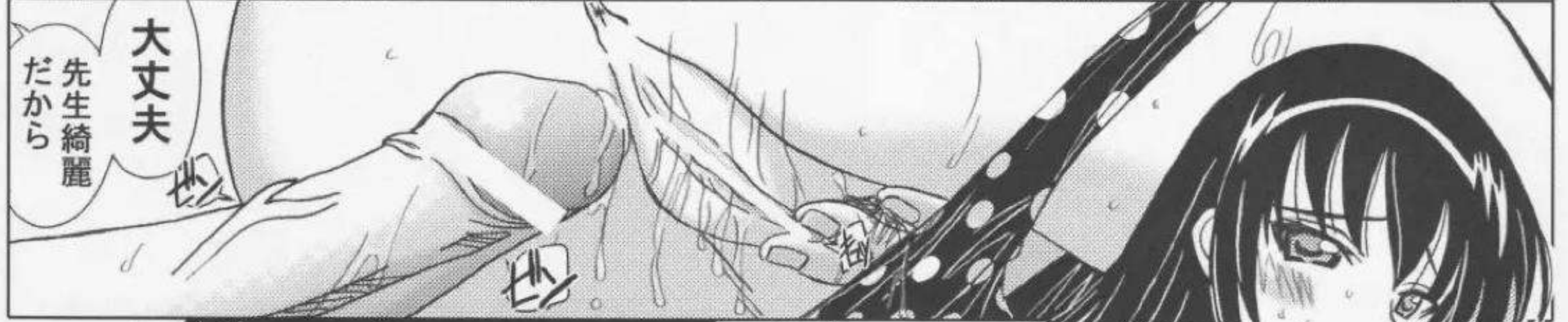
モハモハ

モウカ

きやっ!?

コ

ヒキ





ん

ゆっくり
頼む……!



空気と岩は
冷たいのに……

おんおん!

繋がってる部分と
キミの背中だけ
やけに温かくて
変な感じだ



あつ

はあ

ふう



は

子供って……

このまま二人で
暮らす?
子供作って

なかなか気の
利いた冗談だ……!!
第一満ち潮で沈むだろっ?

はっ
おんおん!



ま

水着で来てるんだぞ…！
それに中でなんて…！

さっし

じゃあ
陸に出すから

待つ

嫌

そんなに
突くと

音が響く
つ…！



絃子先生
中に出すよ？

もじ…
好きでいい
くれ…！



バカ……!
ホントに出す奴があるか……!

なら
遠慮なく



お仕置き
だからな

帰ったら



その後もちろん
こっぴどく叱られ

キミは私の
知っている人間と
よく似ている

心配するな—
キミはキミだ

他の誰でもない

先生と二人で
沈み行く
夕日を眺めた



夜に地元の夏祭りに二人で行ってみた



そんなにりんご飴食べるのが似合わないか？
それともこの浴衣か？

なんだ…？



んは…

んっ…

人気のない神社の
境内でキスをする



ここではないと
言っただろう？

続きは帰ってからだ
まったく…



はあっ

はあ…っ



コラ

ちよっと待て…
脱がすなっ

ス…



この旅何度目か
分からない
温泉に入る



ちよっ！
ちよっ！

ここでフェラチオは
勘弁してくれ……！



はあー
極楽だなあ

温泉につかっていると
学校の面倒なしがらみも
キレイサツパリ忘れて
しまいそうだー



そう

レロ...

そんなに吸っても
何も出ないぞ...



ドキ

ドキ

代わりに
胸を愛撫

まったく...



それなら
先生も

↑

びよ

お尻



っ!?

誰がそこまで
していいと...!!
あんまり調子に乗るな

チキチキ



仕方ないな
またこれか

力水

まさか温泉で
するハメに
なるとは…
誰か来ないだろうな

ちゅぽ

まあ
こっぴつのも
悪くないー

ちゅぽ

ちゅぽ

ほっ

ふう

ちゅぽ

はきゅ





そんなに大声
出したら
人が来るよ

あ...

はあ...



塞いであげ
ないとね
ホラ舐めて

ふは...!



先端に舌を
突っ込んで...!
そう...

んむっ!

ふむんっ...!

んっ



胸も使う
よ...!

おぶ...



キョウ!

キョウ!

ほむっ
うっ!?



出るっ…!!

んぐ…

んぐ…

びしょ

んぐ

びしょ

はぁー

はぁー



本番もする？

…って無理か
コメン先生

温泉で疲弊
するとはな…
ヤレヤレ

ぐったり…

んぐ

せーっ



まだ残って
るよ…

あ…

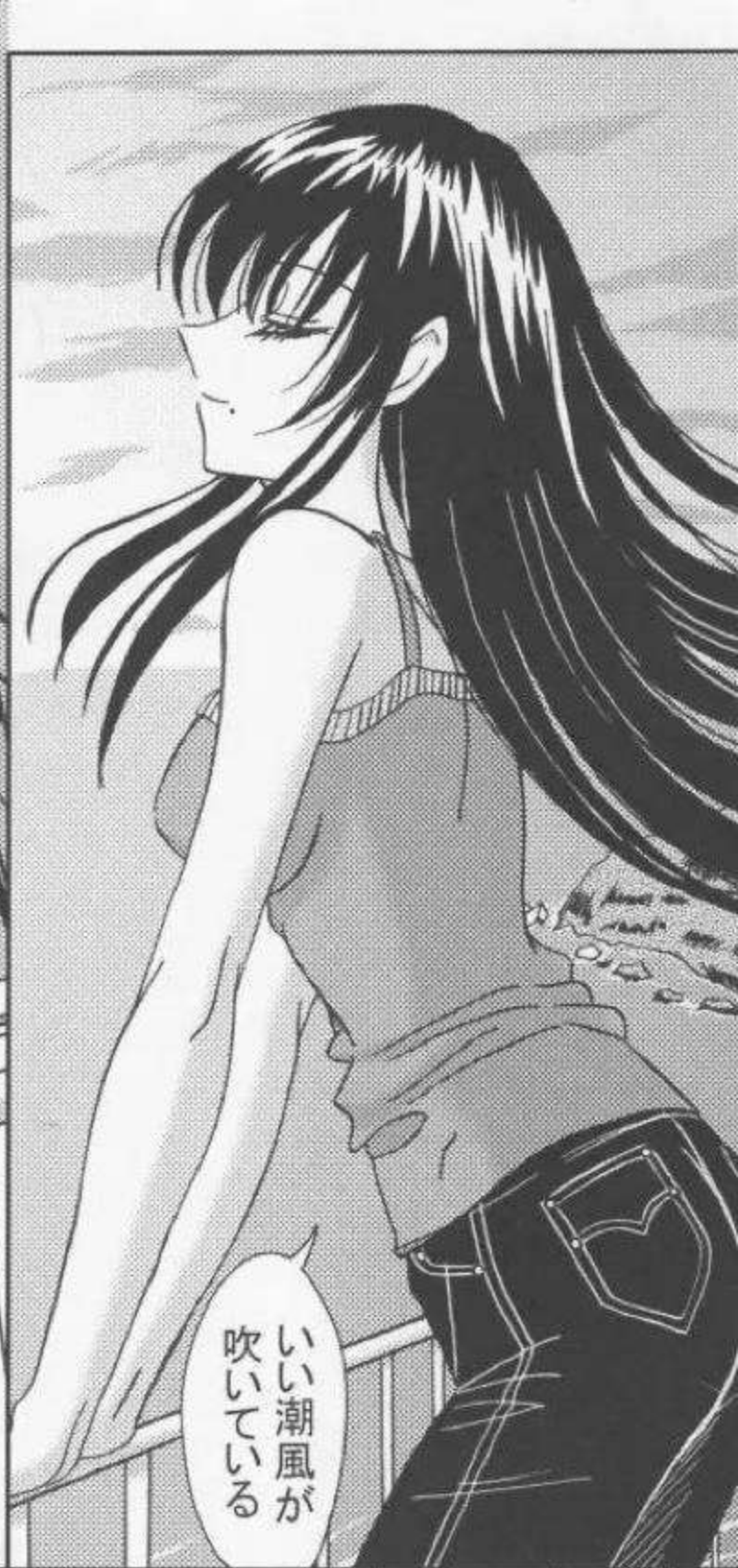
せーっ

せーっ



灯台のある
岬から
海を望む

こんなに綺麗な
夕日は久しぶり
だな——



いい潮風が
吹いている



大体キミと旅行に
来るのにも一苦労
だったんだぞ

葉子が普段行かない
ような場所を選んで

休日の言い訳も
考えて——
骨が折れた



ん？

葉子と見ている
太陽とは意味
合いが違うさ



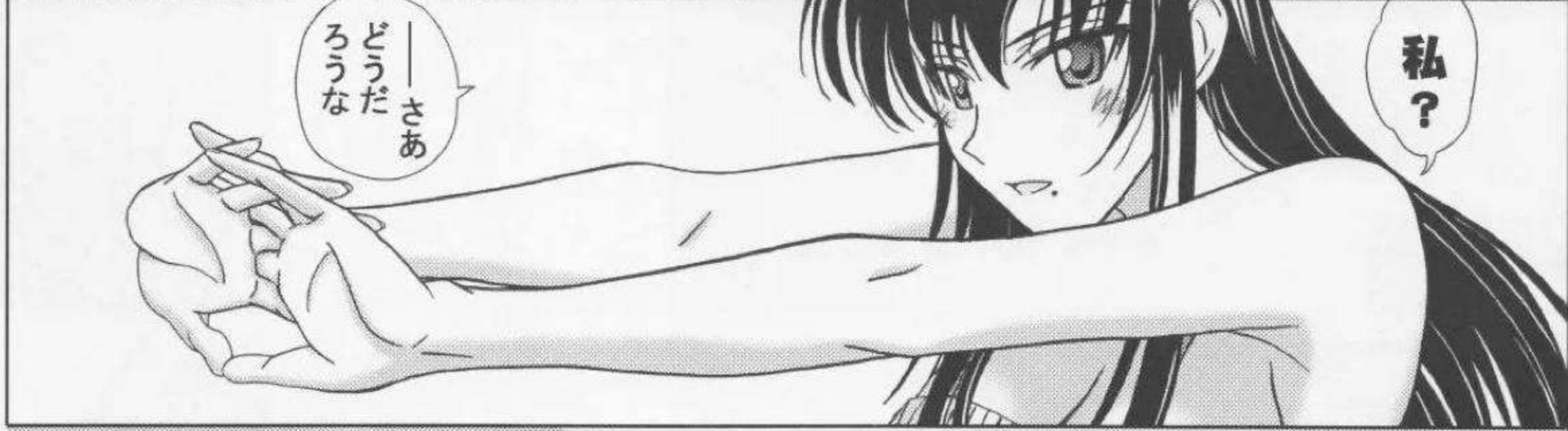
ところでキミは
卒業後どう
するんだ？
就職かそれとも…



そうか
まだ決めてないか

今までいろんな生徒を
見てきたが—
その数だけ生き方がある

焦る事は無いから
自分の生き方を
見つけるといい



私？

—さあ
どうだ
ろうな



多分この後も
ずっとこんな
調子だよ

もっとも

キミの横でこうして
いられるのが
一番いいんだがね

そう言つて
絃子先生は
笑つた



スア

はーんほりした

スア

気持ちのいい夜だな

最高の気分だ
マッサージもいい



そういえば深夜にはしてなかったか

いいだろう
一夏の思い出だ



絃子さん

ん？

明日は帰りだから今夜したい？



パキン

今夜は月があるから

これは必要ない



どうだ？

ちゃんと私の体が
見えているか？

何だか最初にした
時のように
恥ずかしいな…
初夜みたいだ

クソッ



いいんだぞ？

今夜はキミの
好きにしてー

クソ..

あっ

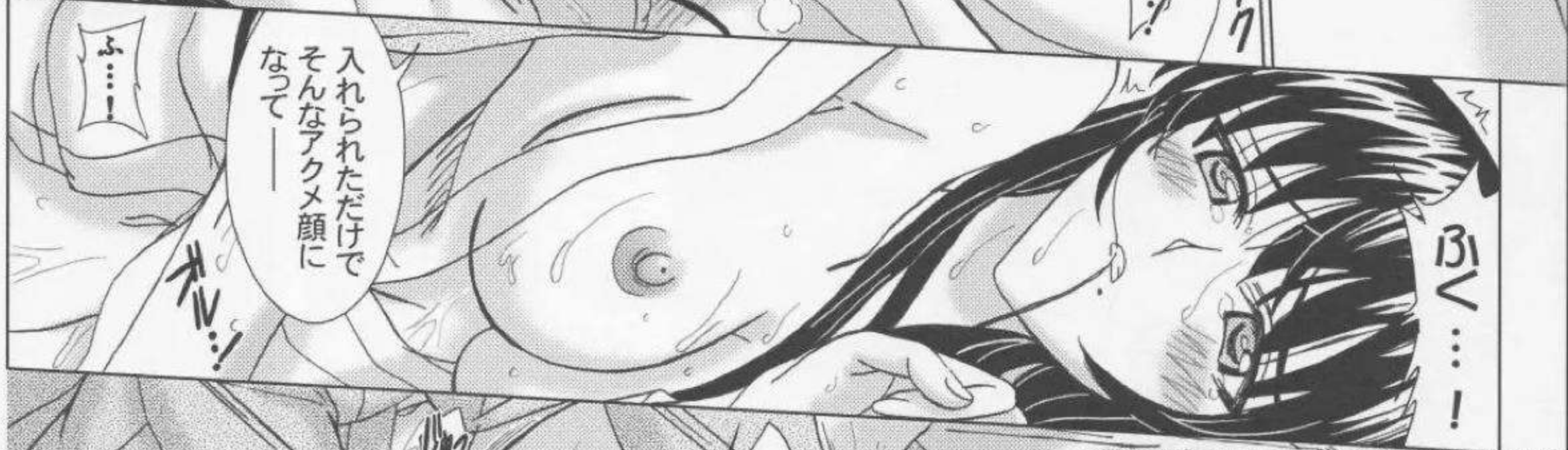




いやらし
音……!!

く……!!

全部……押し
込むよ……!!



入れられただけで
そんなアクメ顔に
なつて——

び……!!



あ

深う

胸っ

絃子の

胸っ

深いっ

カッ



もっと…名前を
呼んで…!!

絃子あつ

絃子

絃子

あ

あ

あ



擦り切れ
るほど

あつ…!!

はあつ

あ

はあつ



そろそろ
イクよう

絃子っ

私も
イクっ…!!

私も



唇…唾液…全部
舐めたい…!!

私もだ
…!!





ホラ 急ぐ!
バスが来るぞ

それくらいの重さで
へこたれるなんて
だらしがないな
もっと体力をつけろ

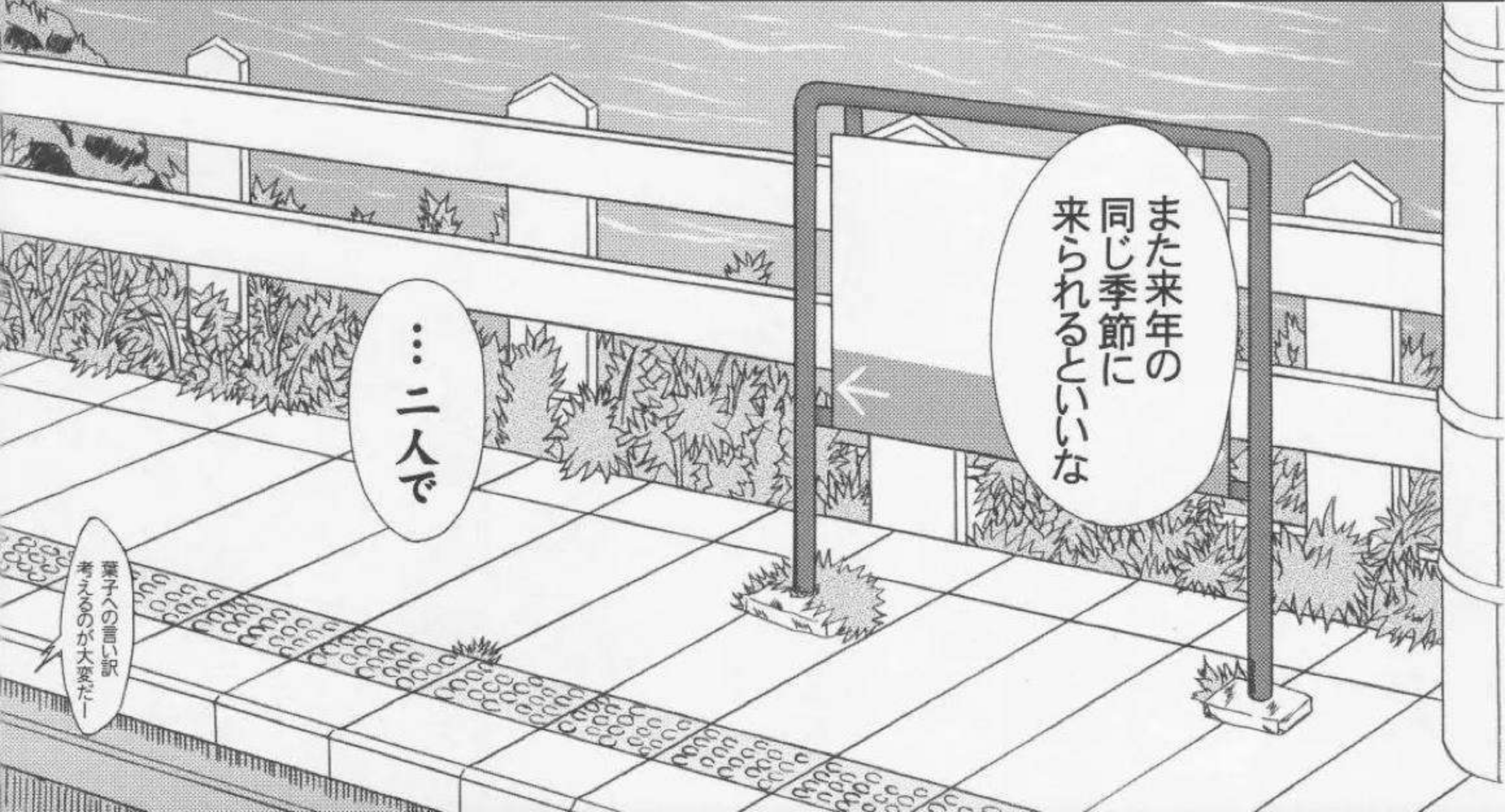
わわわわわ

ハッ



ん
どうした?

先生の横顔が
そんなに
可愛いかな
ウブな奴だ



また来年の
同じ季節に
来られるといいな

…二人で

葉子への言い訳
考えるのが大変だ!



学校で馴れ馴れしく話しかけるなど言ったらどう?

ソコ!

アア

先生

アア

絃子先生

ア:

あ

この前の旅行の写真ができたから

コレ… スイマセン



若さとは素晴らしいものだ

—ふふ

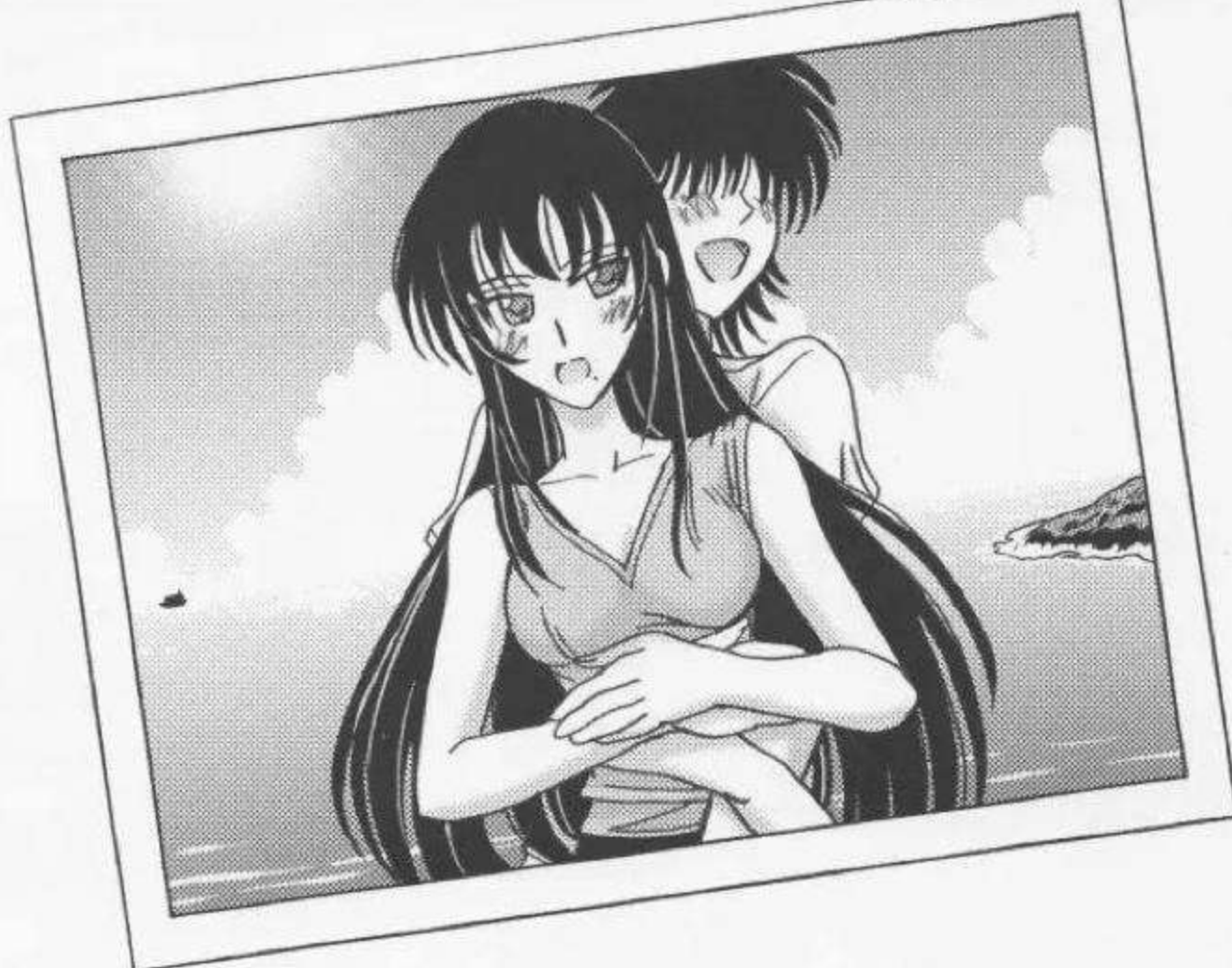
かハ!

あ

おい…!! 廊下は走るな


それじゃ!

アア



葉子に見られないようにしなくちゃ

fino




初めての方も常連の方もこんにちわ。
いななきしきよる絃子先生本てございます。
内なる絃子先生へのラブラブつづりを形にしたら
二ヶ月半もかかってしまいました(〇)
夏休みに描き始めたのに...

相手の方に最初は目を入れようとしていたんですが
どうにも入り込めなくなるのでやめました。
なので播磨に似た外見という設定で思う存分
自分を投影させてお読みください (>w<)
どうも妄想入りすぎて絃子先生が全体的に
優しい顔になってしまっています。
普段はもっとツンツンしてるんですが、
好きな相手と一緒にいる時はデレということて! (をい)

播磨とのカラミは前に少し描いただけなので、
改めて播磨×先生ズとが描いてみたかったり。
その前に連載終わってたりしないですよ? (・w・)

ではでは、今回はこれにて。いななきしきでした。
06.10.18 MLBポストシーズンを観ながら



絃子先生と
らぶらぶ
なつやすみ。

003-絃子先生とらぶらぶ温泉旅行。

039-シスター・サラの浄化

06/10/31 初版発行

発行元：studio A side B "Lover's"

website：http://homepage2.nifty.com/skyhigh

E-mail：studio.a@nifty.com

発行人：いななきしき

*18歳未満の購入、閲覧禁止

*本誌の全ページ無断転載、複製禁止

*ネットに本書をアップロードすると

いななきしきの気力を著しく削ぐ
恐れがございますのでお止め下さい。

*本誌は二次創作の同人誌であり、

元ネタの出版社及び原作者様、
関連企業等とは一切関係ありません。

応援してくれている人に感謝の意をこめて。

ここには救いを求め
数多くの罪深き人が
訪れます

さとう……

今日も頑張って
みんなの悩みを
聞いてあげなくちや

あの……
シスター

よろしい
ですか？

好きな人の事を
考えていると

すっかりこんな
状態になって
しまつて——

心配する事は
ありません

スル！

神に身を
委ねるのです



こうして私が
介抱しています

んっ

淫魔に心を
奪われた
みなさんを

んっ♡

ちゅぽ

んっ

んっ

んっ

んっ



こんなに出したのに
まだ魔物が…

どっ



吸います
よっ…!!



なら私が
この体で—

ちよつと待って
下さいね

スル!



濃いの…
出てる…

んっ!



動きませんよ……!

根本まで入りました

ぬるぬる



くっつく……♡

くっつく

固くて熱いっ……!



あ

くっつく

好きな人の事を想って



あ

思う存分にぶちまけてくださいっ……!!

くっつく

は

くっつく



あ...あ...

はあ

はあ



これだ...



もう一つの穴で
浄化して
あげますから♪

慌てないで
下さい



あなたの罪は
許されました



次の方
どうぞ...♡

お俺
もう...!

はあ

Itoko Osakabe
love love book
Lover's presents
for adult only

